

生涯の健康に関する理解促進事業 学習指導略案

対象学年：第1学年

1 研究主題

「望ましい思春期の過ごし方」と「将来における家族計画の在り方」について学びを深める。

2 主題設定の理由

科目保健の授業を通して、妊娠・出産についての単元を扱い、避妊についての重要性やストレスとの向き合い方について学んではいるが、リアリティのある学習を通して学びを深めることに課題がある。

これらの実態を踏まえて、外部機関との連携を図りながら、「望ましい思春期の過ごし方」と「将来における家族計画の在り方」について学びを深めることが重要であると考えた。

3 生徒の実態

本校では、生徒が望ましい生活習慣を確立できるようにすることが喫緊の課題となっている。アルバイト等が理由で睡眠が不足となる、深夜にゲームに没頭することで登校時刻に間に合わず、遅刻や欠席が続いてしまうことがある。

また、円滑な人間関係を構築する必要がある。

4 単元（活動）計画（第1学年）

時	保健	家庭総合
1	喫煙と健康	次世代を育む
2	飲酒と健康	命のはじまり
3	薬物乱用と健康	乳幼児の体と心の発達
4	性感染症とその予防	親と子の関わり
本時	(特別活動) 生涯の健康に関わる知識の内、性に関する内容を中心として理解を深める。	
6	エイズとその予防	親と子の関わり

5 本時の指導

(1) 指導のねらい

生涯の健康に関わる知識の内、性に関する内容を中心として理解を深める。

(2) 展開

	学習活動	○指導上の留意点・配慮事項 ★目指す生徒の姿
導入 5分	1 本時のねらいを知る。 2 講師を知る。	○ 学級ごと2～3例で整列させる。 ○ 出席を確認する。 ○ これまでに科目保健及び家庭総合の授業で学習してきた内容を振り返りながら、ねらいを明らかにする。(T1) ○ 講師を紹介する。(T1)
展開 60分	3 講師(T2)による講話を聞く。 (1) 多様な性について考える。 (2) 月経について考える。 (3) 妊娠と避妊について考える。 (4) 性感染症について考える。 (5) 性に関するトラブルについて考える。	○ 性器、性欲、性差、多様な性の4つのキーワードについて扱う。 ○ 月経が起こるしくみとPMSについて取り上げる。 ○ 性交のリスクと避妊法について取り上げる。 ○ 主な感染症や感染経路について取り上げる。 ○ 性に関する法律や権利について取り上げる。
まとめ 5分	4 質疑応答	○ 2～3人の生徒を対象に、質疑応答を行う。(司会 T1) ★ 生涯の健康に関わる性の知識と避妊の重要性について理解している。
	・ 教室移動 ・ (SHR)本時を振り返る。 ・ 講師(T2)による個人面談、カウンセリング	○ 教室でアンケートを行う。 ○ 保健室にて個別の面談を希望者のみ行う。(T2+養護教諭)